

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイル		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	迅速かつ柔軟な対応で子どもの思いに寄り添い、安心感を重視して支援を行っています。SNSで活動の様子や方針を丁寧に発信し、保護者との信頼関係を構築。連絡・報告を徹底し、透明性とレスポンスの速さが強みとなっています。	連絡窓口を一元化し、情報が職員全体で共有される体制を整えています。電話、SNSなど多様な手段で保護者とつながることで、迅速で確実な連携を実現。家庭と事業所の情報共有を円滑に行える工夫がされています。	今後は家庭との連携に加え、保育園や幼稚園とも情報共有を進め、子どもの支援方針を一貫させていきたいと考えています。関係機関との協働体制を強化し、より包括的で切れ目のない支援を実現することが今後の課題です。
2	穏やかで温かな対応を大切に、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めています。一人ひとりの特性やペースを尊重し、丁寧にすることで自己肯定感を育む支援を実践している点が事業所の強みです。	定期的なミーティングで児童の様子や課題を全職員で共有し、支援方針の一貫性を保っています。急な変化にも対応できるよう、余裕を持ったスケジュールを組むことで、落ち着いた環境と柔軟な支援を両立しています。	今後も子ども一人ひとりの情報を確実に共有できる体制を強化し、支援の質をさらに高めていきたいと考えています。スタッフ間の連携を密にし、継続的で一貫した支援が行える環境づくりを目指します。
3	子ども達が通うことを楽しみにし、安心して過ごせる居場所として定着しています。長期的な利用が多く、継続的な関わりを通して成長や発達を丁寧に支援できる点が、当事業所の大きな強みです。	子ども達の主体性を尊重し、自分の考えや行動を大切にできるよう支援しています。失敗や困難も成長の一部として受け止め、他者との比較を避けながら、一人ひとりの声に丁寧に耳を傾ける姿勢を大切にしています。	今後も子ども達の様子を丁寧に観察し、興味や意欲を引き出す関わりを大切にしていきます。好奇心を刺激する活動や声掛けを工夫し、より主体的に楽しめる環境づくりを進めていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達が通う保育園や幼稚園との情報共有や連携が十分に行えていない点が課題となっています。	人員や時間的な余裕が限られており、保育園・幼稚園との連絡手順が確立されていないことが要因です。加えて、活動時間帯の違いや情報共有ツールの未整備により、他機関との連携が円滑に進みにくい状況があります。	保育園・幼稚園との連携体制を整え、情報共有をスムーズに行える仕組みづくりが必要です。業務の効率化を図り、限られた時間の中でも関係機関との連絡や協働が継続的に見える体制を構築していくことが求められます。
2	地域住民との交流の場が少なく、地域に開かれた事業運営が十分に行えていない点が課題です。	地域交流を企画・運営できる人材が不足しており、地域や利用者のニーズ把握も十分ではありません。さらに、交流を通じて提供できる支援内容の検討が不十分であることが、地域との関わりが進まない要因となっています。	地域とつながるために、魅力あるプログラム内容の充実と運営体制の整備が求められます。誰もが参加しやすい環境を整え、地域住民や保護者が自然に関われるような交流の場を継続的に設けていくことが必要です。
3	父母の会や保護者会など、保護者同士が交流・情報交換できる場が少ない点が課題です。	保護者の多くが仕事などで時間的制約を抱えており、交流会の企画や運営に負担がかかることが要因です。さらに、参加しやすい場所や時間を設定することが難しく、結果として交流の機会が生まれにくい状況となっています。	保護者が参加しやすいよう、オンライン交流会や短時間のイベントなど柔軟な形式を検討します。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイル

公表日 令和7年11月1日

利用児童数 2

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	安心して通えています。	ありがとうございます。引き続き安心してご利用いただける支援環境や内容を整備します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	とっても楽しいようです。	ありがとうございます。これからも楽しくご利用いただけるよう、日常の支援からイベントまで工夫した支援を心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スマイル					公表日	令和7年11月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団・個別のスペースを分けて確保できる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切である		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	入ってはいけない場所を区切っている。利用者や子どもの状況に応じた配置を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	掃除や整頓が行き届いている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々の振り返りや支援方法の共有がされている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートの実施をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	つなげている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月研修が行われている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	協議・共有が行われている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	行われている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	確認されている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	認定されている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	新しい活動を定期的追加し、提案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	計画されている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には必ず職員間で当日の支援についての話し合いが行われる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	翌日に行われている。 必要に応じて、都度共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	努めている	関係機関との連携を強化していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	相談支援事業等との連携が図られている。	どのような取り組みがインクルージョンにあたるかを理解できるようにする。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	努めている	事業所内でも共有を行う
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0	行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0	努めている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0	している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				あまり活発ではない
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		あまりない	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援後のフィードバックや定期的なモニタリング実施などにより図っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	アンケートによりご家族の意向を確認しながら実施している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	設けている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	SNSを利用し、いつでも悩みや相談を聞ける体制を整えている。必要に応じて、面談や助言など支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	アンケートによりご家族の意向を確認しながら実施している。	もっとすべきかもしれない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	活用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		あまりしていない 法令に従い進めていく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	毎月実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	委員会を設け、定期的に協議されている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	行われている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		周知が十分ではないかもしれない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	共有・検討している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	している	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	決定、共有されている		